

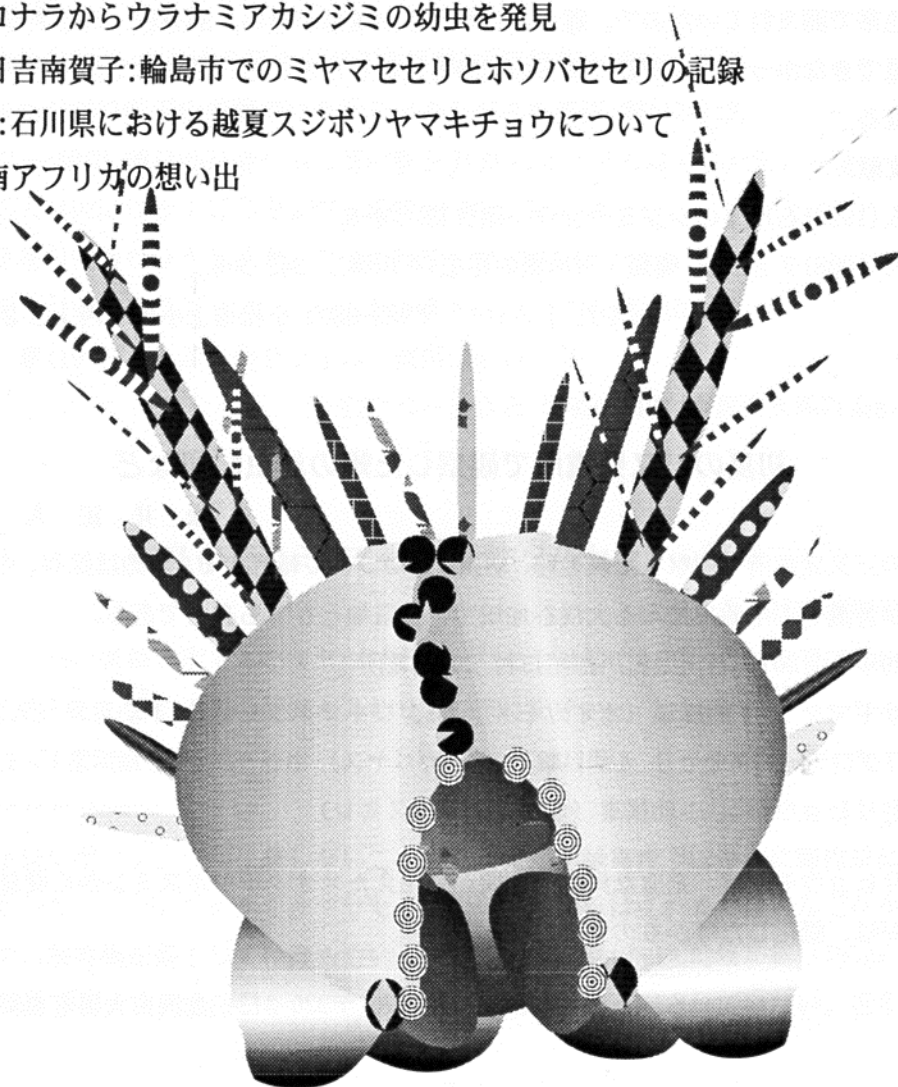
# 翔

百万石蝶談会

No. 144

June 2000

- 矢田新平:小松市大杉谷でムラサキシジミを目撃
- 松井正人:初夏の三又発電所で観察した蝶の幼虫、卵など
- 松井正人:コナラからウラナミアカシジミの幼虫を発見
- 日吉芳朗・日吉南賀子:輪島市でのミヤマセセリとホソバセセリの記録
- 嵯峨井淳郎:石川県における越夏スジボソヤマキチョウについて
- 久慈一英:南アフリカの思い出



## 小松市大杉谷でムラサキシジミを目撃

矢田新平

本種は小松市内に2例の記録しかなく、石川県内においても7例の記録にとどまり、偶産種扱いとなっている(松井、1996、1998)。筆者は1999年4月より小松市立博物館の生物調査の一環として、小松市大杉谷林道沿いの鳥相調査を行なっているが、その折りに本種を目撃し、採集を試みたが残念ながら失敗した。

1999年9月26日 小松市大杉谷川林道鈴ヶ岳登山口(5436-23-49) 1頭目撃 矢田新平

この日の現地気温は24℃で晴、すがすがしい日であった。12時35分頃、登山口より少し下ったS字状カーブの手前30mの、右手斜面にカシのような広葉樹が生えているところで発見した。当初、目線より下から飛び出し、そして3mぐらいの高さの木の葉上に止まった。ムラサキシジミと見定め、しっかり狙いを定めていたらトンボが近づき、それを追うように飛び立ち、そのまま斜面を上昇して飛んでいってしまった。この時、翅表面外縁は太い黒色帯で囲まれていたので、雌だと思われるが確信が無い。30分程、周辺を探索したが再発見できなかった。本記録は過去の記録と比較したところ、これまでの中で一番遅い記録となる。

《参考文献》

松井正人(1996)石川県のシジミチョウ. 翔(123): 4-8.

松井正人(1998)チョウ目 蝶類. 石川県の昆虫(石川県): 342-365.

《やた しんぺい 〒923-0802 小松市上小松町丙192-8》

## 初夏の三又発電所で観察した蝶の幼虫、卵など

松井正人

初夏の三又発電所で観察した蝶の卵、幼虫、蛹について報告する。同地は蛇谷、中ノ川、丸石谷が合流して尾添川になる大溪谷地域で、多雪地としても有名である。

◆1999年5月30日 石川県石川郡尾口村三又発電所

アサギマダラ 1卵採集(オオカモメヅル)、コキマダラセセリ 1幼目撃(ススキ)、  
ヘリグロチャバネセセリ 4幼目撃(ヒゲノガリヤス)、ホシミスジ 2蛹採集(シモツケ)、  
ミドリヒョウモン 1幼採集(オオタチツボスミレ)

ミドリヒョウモンは、垂直な岸壁の隙間から生えたオオタチツボスミレから発見し、ホシミスジは、蛹化したばかりのようだった。

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

## コナラからウラナミアカシジミの幼虫を発見

松井 正 人

ウラナミアカシジミは、小松や金沢の低山地にあるクヌギ・アベマキ林で多数観察され、幼虫もクヌギやアベマキから観察されている（松井正人, 1985）。

ところが、金沢市日尾（今井・勝田, 1957）、金沢市犀川ダム上流（中西, 1992）、金沢市キゴ山（竹谷宏二, 1993）、金沢市医王山（生田, 1997）、金沢市倉ヶ岳（富沢, 1997）、金沢市国見（生田, 1994）、金沢市国見山（江口, 未発表）、吉野谷村瀬波（生田, 1994）などクヌギやアベマキが無い地域でもウラナミアカシジミ成虫が観察され、これらの地域ではコナラかミズナラか、それともどちらも食樹になっているのか、関心が注がれていた。

そこで、成虫が比較的多く観察されているキゴ山と国見山において、コナラとミズナラから幼虫を探したところ、国見山においてコナラからウラナミアカシジミの幼虫を発見した。

ウラナミアカシジミ 1999年5月3日 石川県金沢市国見山 3幼(コナラ) 松井正人

### 《 参考文献 》

- 生田省悟(1994)ウラナミアカシジミの目撃・採集例若干. 翔(110):1.  
 生田省悟(1997)医王山中腹でウラナミアカシジミを確認. 翔(128):2.  
 今井宏三・勝田 博(1957)金沢市近郊の蝶を追加す. とっくりばち(5):9.  
 松井正人(1985)ウラナミアカシジミの採幼. 翔(52):3.  
 中西重雄(1992)ウラナミアカシジミの目撃記録. 翔(99):7.  
 竹谷宏二(1993)ウラナミアカシジミ金沢市キゴ山に産す. 翔(103):2.  
 富沢 章(1997)久しぶりのゼフィルス採集. 翔(128):1.

《まつい まさと 〒920-3121 金沢市大場町東871-15》

## 輪島市でのミヤマセセリとホソバセセリの記録

日吉芳朗・日吉南賀子

1999年、石川県輪島市でミヤマセセリとホソバセセリについて、これまででない頭数を採集・目撃したので、過去の記録とあわせて以下に記す。

### ■ミヤマセセリ

能登半島にギフチョウが生息しないこともあってか、輪島市では早春に蝶採集に山へ入ることが少なく、そのためかミヤマセセリについての報告はこれまでほとんどなかった。輪島市での蝶採集記録としては最も古いとされている浅見行一・的場和雄（1952）によると、高洲山で4～5月に採集されるとあるが、解説には何も記されていない。近年になる

と、松井正人氏の私信によれば、1991年5月19日三井町興徳寺で、1992年5月17日寺山町でそれぞれ1♀が目撃され、天野勝広（1997）には輪島市内で採集確認されたことが明記されているが、その詳細は不明である。また日吉芳朗は1997年4月29日、三蛇山に近いミズバショウの群生地でも2♂3♀を採集するとともに、その後も同地周辺で計6頭を目撃したが、他地域でみることはなかった（日吉芳朗、1997）。

筆者らは本年、スギタニルリシジミを追ってこれまでにない早い時期からフィールドへ出かけたためか、三蛇山、気勝山、高洲山、鉢伏山、宝立山、四辻峠、下山町、三井町、寺山町と広い範囲で採集・目撃することができた。その総数は8♂3♀採集、8頭目撃である。

1999年4月22日	輪島市下山	1♂1♀2頭目撃	日吉芳朗
1999年4月22日	輪島市三蛇山	2頭目撃	日吉南賀子
1999年4月30日	輪島市四辻峠	1♂	日吉芳朗
1999年5月1日	輪島市寺山寺山	1♀	日吉南賀子
1999年5月1日	輪島市宝立山	1♂	日吉芳朗
1999年5月2日	輪島市宝立山	1♂2頭目撃	日吉芳弥・日吉芳朗
1999年5月5日	輪島市鉢伏山	1頭目撃	日吉南賀子
1999年5月5日	輪島市高洲山	2♂	日吉芳朗
1999年5月11日	輪島市三井中	1♂1頭目撃	日吉芳朗
1999年5月16日	輪島市気勝山	1♂	日吉南賀子
1999年5月22日	輪島市気勝山	1♀	日吉南賀子

これらの地点を図示すると輪島市内のかなり広い範囲にわたっていることがわかる。

## ■ホソバセセリ

ホソバセセリは金沢、加賀方面ではそれほど珍しくもないようであるが、輪島市では希種に属すると考えられる。浅見・的場氏は前記報告の解説の中で、「輪島町では一頭採集されたのみで、数は少ない様である」と記しておられる。筆者の1人、日吉芳朗が採集活動を始めたのは1954年であるが、途中で中断した時期があったにせよ1996年まで目撃することさえなかった。しかし1997年と98年にようやく各2頭を採集することができた。

1997年7月13日	輪島市高洲山	1♂	日吉芳朗
1997年7月18日	輪島市四辻峠	1♂	日吉芳朗
1998年7月12日	輪島市町野舞谷	1♂	日吉南賀子
1998年7月28日	輪島市鉢伏山	1♀	日吉南賀子

また天野氏は筆者ら以前にすでに採集されていたようであるが（天野勝広、1997）、これまた詳しいことはわからない。松井正人（1997）によると1997年7月20日輪島市三井坂田、1997年7月21日輪島市宝立山で目撃、また1997年7月20日輪島市三井小泉でも目撃さ

れている（松井正人、私信）。

ところが本年、宝立山の頂上付近の三叉路より吉ヶ町へ下る林道の入口から0.15km付近で計4頭を採集するとともに1頭を目撃した。

1999年7月24日 輪島市宝立山 1♂1頭目撃 日吉南賀子

1999年7月27日 輪島市宝立山 1♂ 日吉宏朗

1999年8月1日 輪島市宝立山 2♀ 日吉南賀子

なお珠洲市に属するが、7月24日、前記林道の入口より0.25kmの地点で右折した神社下の道路沿いで日吉南賀子が3♂を採集、3頭を目撃することができた。筆者らにとって1つのせまい地域にこれだけの頭数をみたのは初めてであり、今後の調査に希望をもたせるものであった。

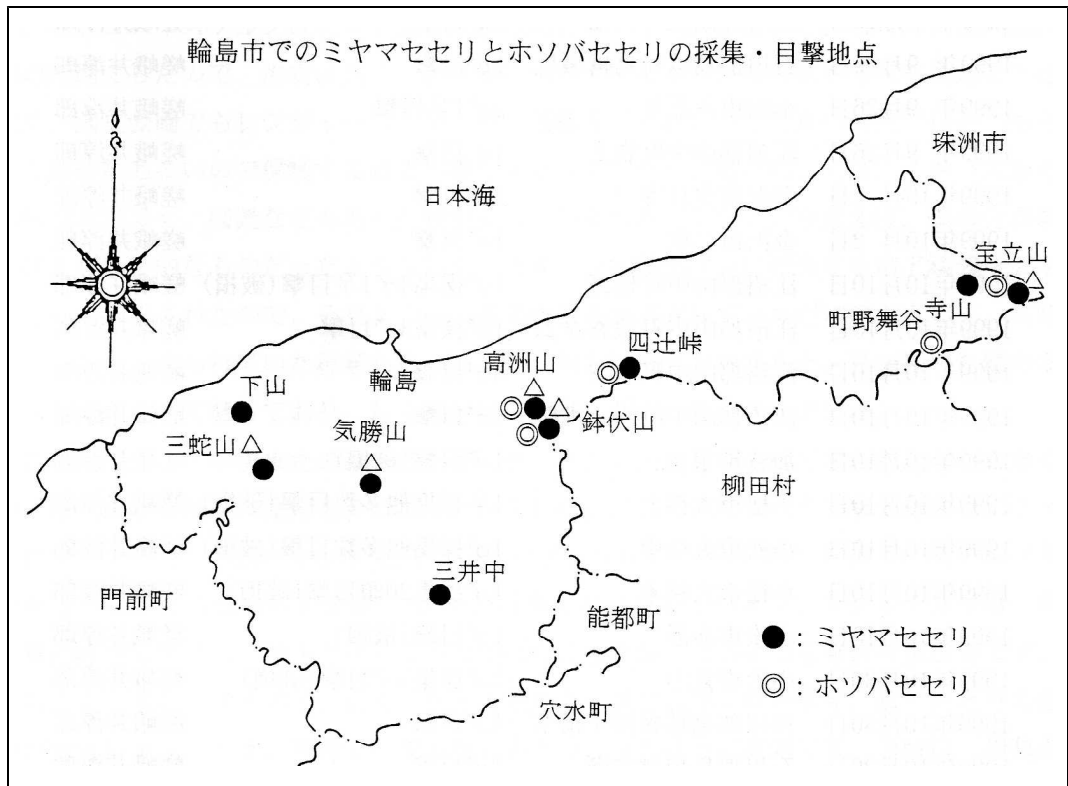
#### 《参考文献》

浅見行一・的場和雄（1952）石川県旧鳳至郡の蝶類について：3-4, 12. 輪島高等学校.

天野勝広（1997）輪島のセセリチョウについて. アカハネムシ（22）：5-6.

日吉芳朗（1997）輪島市での近年のチョウ採集記録から. アカハネムシ（25）：1-3.

松井正人（1997）1997年に輪島市周辺で見かけた蝶. 翔（129）：4-5.



《ひよしよしろう・ひよしながこ 〒928-0001 輪島市河井町1部64-1》

## 石川県における越夏スジボソヤマキチョウについて

嵯峨井淳郎

石川県産スジボソヤマキチョウについては石川県の昆虫(1998)に詳しい。金沢市、辰口町、河内村、鳥越村、尾口村、吉野谷村、小松市、加賀市、山中町等々、加賀地方の山地帯に点々と記録があり、決して少ないものではない。しかしながら採集しようとしても中々簡単に採集できるものではなく、過去の経験からでは他の種をターゲットとしていて、たまたま採集されることのほうが多く、越冬明けの3～4月、そして新成虫の7月に採集されることが多い。

今回1998年、1999年の2年間にわたり比較的記録の少ない、越夏後のものについて加賀地方各地にて比較的多数の本種を目撃・採集することができたので報告する。これら越夏後のスジボソヤマキチョウは、確認した地域によってはかなり汚損・破損が激しいものも多数見られた。以下に、この2年間における採集・目撃確認データを記す。採集個体は全て筆者が保管している。

1998年 9月10日	金沢市額谷	1♂採集	嵯峨井淳郎
1999年 8月29日	能美郡辰ノ口町湯屋	3♂目撃	嵯峨井淳郎
1999年 9月 5日	石川郡白峰村風嵐	1♂採集	嵯峨井淳郎
1999年 9月19日	石川郡鶴来町八幡	1♂目撃	嵯峨井淳郎
1999年 9月25日	石川郡鳥越村鳥越城址	1♂目撃	嵯峨井淳郎
1999年 9月26日	小松市みどり	2♂1♀目撃	嵯峨井淳郎
1999年 9月26日	江沼郡山中町岩上	1♂目撃	嵯峨井淳郎
1999年10月 2日	金沢市夕日寺	1♂目撃	嵯峨井淳郎
1999年10月 2日	金沢市二俣	1♂目撃	嵯峨井淳郎
1999年10月10日	江沼郡山中町栢野	1♂採集4♂1♀目撃(破損)	嵯峨井淳郎
1999年10月10日	江沼郡山中町我谷ダム	1♂採集3♂目撃	嵯峨井淳郎
1999年10月10日	江沼郡山中町久谷	3♂目撃	嵯峨井淳郎
1999年10月10日	江沼郡山中町四十九院	1♂目撃	嵯峨井淳郎
1999年10月10日	加賀市宇谷	1♂目撃(破損)	嵯峨井淳郎
1999年10月10日	小松市大杉上	1♀採集他多数目撃(破損)	嵯峨井淳郎
1999年10月10日	小松市大杉中	1♂採集他多数目撃(破損)	嵯峨井淳郎
1999年10月10日	小松市大杉本	1♂採集20頭目撃(破損)	嵯峨井淳郎
1999年10月10日	小松市赤瀬	1♂目撃(破損)	嵯峨井淳郎
1999年10月30日	小松市丸山	1♂採集3♂目撃(破損)	嵯峨井淳郎
1999年10月30日	石川郡鳥越村神子清水	1♂目撃	嵯峨井淳郎
1999年10月30日	石川郡鳥越村左礫	1♂目撃	嵯峨井淳郎
1999年10月31日	石川郡鳥越村柳原	2♂目撃(破損)	嵯峨井淳郎

《さがい じゅんろう 〒921-8145 金沢市額谷3-18-2》

## 南アフリカの思い出

久 慈 一 英

皆さん、唐突ですが南アフリカ共和国の国蝶をご存じですか？ *Papilio ophidicephalus*です。コウテイアゲハという和名があるようです。アフリカの蝶図鑑の表紙などによく出ている見栄えのするアゲハです。ニューヨークに来て、たまたま南アの新しい蝶ガイド (Mark Williams, 1994, Butterflies of Southern Africa.) をみつけて、ちょっと昔を語ってみたいになりました。小学5年から中学2年生まで1973-5年の3年間、父の仕事で住んでいました。南アは、緯度によると台湾あたりに相当するのですが、砂漠や高山もあり、亜熱帯林からサバナ、温帯、砂漠気候があって、地中海性気候までであるという世界でも希な気候分布変化に富んだ国です。蝶相も海岸沿いの亜熱帯には南方森林性の蝶がおり、内陸のサバナには灌木林や草原の蝶がいます。ケープタウン中心のフィンボス (Fynbos) とよばれる地中海性気候の乾燥草原や内陸のカルー (Karoo) と呼ばれる乾燥した半砂漠の帯には、多くの独特なシジミの固有種を産します。ドラケンスバーグ山脈は、標高3000mを越える大きな山脈で、山地性のジャノメの固有種などが住んでいます。南アには日本の3倍ほどの国土に500種類以上の蝶がいます。私が、住んでいたのはヨハネスブルグという街です。標高1800mくらいの温帯草原で、空気は薄く乾燥しています。気温は、東京よりも少し暖かくてすごしやすいところです。南アはアフリカの先進国ですが、人種融合の混乱で、現在ヨハネスブルグは世界で最も危険な街となってしまいました。当時は人種隔離政策の時期でしたので、治安は良く、蝶採集に向いていました。蝶採集する人も見たことはなく、国立公園でもレンジャーの人がいろいろ教えてくれたりして良い時代でした。もちろん蝶の数も多いので保護する必要も感じませんでした。蝶に関しては、イギリスからの研究者が多く、図鑑などもあり比較的進んでいました。しかし、今思えば、蝶の分布調査はまだ断片的なものだったような気がします。日本鱗翅学会に相当する南ア鱗翅学会が1983年に創設されたので、それまでは一部の専門家が調査していただけのようです。当時は、少ないと書かれていた種類もあったのに、新しいガイドを見ると、私が採った蝶の多くが普通種として載っており、なるほど研究が進んだのだなと思いました。

私が、採ることが出来たのは、亜熱帯、サバナから温帯草原の蝶です。残念ながら多くの半砂漠の固有種は、産地まで行けませんでした。アフリカのサバナで有名なのは、チャイロフタオチョウ (*Charaxes*) と美しいシロチョウ *Colotis* の仲間でしょう。南アのフタオチョウはかなり限られますが、*Colotis* は多くが分布しています。フタオチョウは、灌木林が好きでオオムラサキと同じような羽ばたく音が聞こえるような豪快な飛び方です。でも、よく木に止まるので、止まったところをよく見て長竿で採ります。採ったときの感動が大きいチョウです。発酵した果実などのトラップも非常に有効です。当時は、用具が少なくて、手製の不安定な長竿やバタフライトラップを使っていました。*Colotis* は、サバナの草原を飛び交いますが、速いので選んで採ることは難しいです。なぜか、皆同じ方

向に飛ぶことが多いので、待ち伏せが効率良いです。*Colotis*も含めて、サバナの蝶は寒い地方に広がっていく傾向があるので、晩夏から秋になるとヨハネスブルグでも*Colotis*や*Charaxes*、メスアカムラサキなどが多くなり、日本人学校の校庭でいろいろ採れました。ここでは、メスアカムラサキの雌の中に前翅先端の黒白色部分がないものが現れます。多い蝶は、カバマダラとシロチョウ類で*Pontia helice*、*Belenois aurota*と*Catopsilia florella*、オレンジのモンキチョウ(*Colias electo*)が沢山飛んでいます。タテハには、*Precis*、*Juniona*類が多く、テレビのコマーシャルにも出ていた風変わりなシンジュタテハ(*Protogoniomorpha parhassus*)など採れましたが、森林に住む美しいタテハの類(*Euphaedra*や*Euxanthe*)は見ませんでした。

シジミチョウは、種類も多く多様です。変わったものといえば、コケを食べるシジミチョウやアリと共生するシジミが多いことです。キマダラルリツバメやクロシジミの仲間が多いと思って下さい。南アとモザンビークとの国境に四国と同じ広さのクルーガー国立公園というのがあります。ここには、ライオンやゾウなど野生動物が保護されており、車で動物を探してまわります。日本のサファリパークとは違って、自然のままの動物はそう簡単には見つかるものではなく、特に肉食動物には一日中探してもお目にかかれませんが普通です。ここには、豊富なチョウがいますが、危ないので公園内の柵で囲まれた宿泊地や休憩地で採集しました。一度、*Aloeides taikosama*という赤褐色のシジミがたくさん発生している場所を通りかかったことがあります。はじめての種だったので、車の窓越しに採ったりしたのですが、上手く採れないので、降りて採ると主張したのですが、親に却下されました。ところが、すぐその先でライオンに出会いました。この時は背中が少し寒かったです。このときのチョウは、ネットで擦れた雄雌2頭のみしかありませんが、思い出深いチョウの一つです。あと、半砂漠の灌木の花プロテア(国花)やアロエを食すシジミに固有種が多いのですが、私はお目にかかれませんでした。

セセリも多様で、ギンイチモンジセセリのようなものからチャマダラセセリの仲間や黄色いアオバセセリの仲間、コウトウシロシタセセリのようなもの、蜂のようなセセリなど楽しめます。そして、最も独特なのがホソチョウ(*Acraea*)の仲間です。羽がトンボのように細長く、独特の色彩で、鳥にまがいチョウとして知られています。似ているものが多く相互擬態していると考えられますが、当然これに擬態するチョウやガが沢山います。ふわふわと飛んでマダラチョウを小さくした感じです。基本的には採りやすい蝶ですが、マダラチョウと同じで空振りすると舞い上がったり速く飛んで取り損なうことがあります。この仲間はかなり採りました。ジャノメ、ヒカゲの仲間もいろいろいましたが、今思うとあまり採らなかったなと思います。目立たないジャノメ類の多くが実は固有種であることはあとでわかりました。ドラケンスバーグ山脈には、ツマジロウラジャノメっぽい固有の種がいるのですが、登ることはありませんでした。でも、山麓でキイロイチモンジジャノメという大型の派手な固有種は採ることが出来ました。



アフリカ、特にサバナのチョウの特徴は、はっきりとした乾期型と雨期型を持つことが多いことでしょう。よく本に出ている*Precis octavia*は、乾期は青、雨期はピンクの異なる模様で、どうみても同じ種とは思えません。面白いことに、私は季節の変わり目とはいえ同じ時期に同じ場所でなぜか両者を採りました。この種に中間型というのではないようです。*Precis*やシロチョウ類に季節差が目立つものが多いですが、カバマダラのように年中同じものの方が少ないです。広大な大陸に住む蝶の特徴と思うのですが、たいていの蝶が小高い丘の頂上に集まります。ヨハネスブルグの市街地近くに貯水タンクが目立つ小高い岩山があって車で頂上に行けるのですが、ここにはいつもいろいろな蝶が見られました。青いギラギラの羽表に赤茶の前翅端、長い尾状突起があるととも派手なシジミ (*Myrina silenus*)は、当初なかなかお目にかかれなかったのですが、あとでこの岩山の斜面に生えた食草で発生していることがわかり、数がとれました。

蝶の色彩にも独特のものがあります。大地は赤茶色をしているのですが、蝶もまた基調は赤と赤茶色、そして模様がククロというのが多いです。多分保護色のためなのでしょうが、真っ赤と真っ黒の派手な大型のトノサマバッタなんかもいます。また、光り物も多いです。*Colotis*は、美しい赤やオレンジ、ムラサキの前翅先端の模様が有名ですが、クモマツマキチョウとは違って、これらの多くが角度を変えて見ると紫色に輝く構造色を持っており、写真以上に魅力的です。オレンジ色のモンキチョウの雄も輝きを持っています。シジミの類にもギラギラしたやつがいろいろいます。日差しが強いところでは、表翅の派手な目立つ色や鋭い反射光は、裏面の目立たない色と交互に現れて見にくくなるためなのでしょう。保護色、擬態、発生数、厳しい気候での発生などといったしぶとい生き残りの手段がなければ、この大陸で生き抜くのは難しいでしょう。

ヨハネスブルグ近郊には、なぜかアゲハ類は少なく、唯一オナシアゲハ (*Papilio demodocus*)だけが沢山いました。しかし、暖かい地方に行けばいろいろいて、雄は尾状突起のある独特の薄黄色で雌はマダラチョウに擬態している *Papilio dardanus*も雄だけ採りました。雌は少ないらしいです。アフリカの *Papilio* の雌は、雄に比べて格段に珍しいものが多いです。発生地のある森の茂みの中から出てこないためと言われています。熱帯に住むドルリーオオアゲハやザルモキシスアゲハなどが有名です。

南アでは、半分の種類も採れなかったのですが、一番心残りなのが、最初に挙げた *P. ophidicephalus* です。実は、この蝶に出会えた日があったのです。車で3時間くらい行ったラステンバーグというリゾート地に泊まったときです。気付いたのが午後3時頃で、蝶道を作っていて2度チャンスがあったのですが、当時42cmのスプリングネットで空振って、素早くジグザグに飛ぶこの大型のアゲハを捉えることは、叶いませんでした。翌日は雨で流れて、3年間でこれが最初で最後でした。皆さんも似たような経験をお持ちでしょうが、私は今でも空振ったときのアゲハの残像が鮮明に頭に残っています。遠い南アのブッシュをこのチョウが今でも飛んでいる姿を思うと少年時代の思い出が沸き上がってきます。

《くじ いちえい 10 River Road, #4P, New York, NY 10044, USA》

ラップ調査にもかかわらず全く追加確認できなかったセア力が、ひよっこ採れた。四月十六日の昆虫館主催ギフチョウ観察会で、溝から一頭拾われた。

すぐさま動いた仕掛人ふたり情報が入るや、中西・細沼のトラップ仕掛人、くまなくコップをセツト。ところが、翌日見に行くと、コップはほとんど抜かれている。同地はこの時期、かなり有名な遠足ポイント、全ては子供のイタズラかと思われるが、残ったトラップにもセア力の姿はない。

東海北陸自動車道工事で全滅北陸にあつてウスバサイシン食のギフチョウは異色。この異色のギフが庄川に沿って生息し、成出は発生量を誇っていた。この成出の発生地、自動車道工事で完全に消滅した。

特別展示の石畑コレクション 蝶鳥好きの矢田氏、舂倉島へ渡る予定が、強風で船が出

ず輪島市内の観光。ふらっと入ったイナチュウ美術館では、蝶の特別展が行われている。出展者の石畑正夫氏にもお会いしてきた。

熊がいてはネットも振れず 好天に恵まれ、恒例のポイント回りをしていた嵯峨井氏、車から降り歩き出そうとした瞬間、「パキッ」と音が。音のした方を見ると、でっかい熊。「熊注意」の看板なんて平生ほとんど目に入らないが、この日ばかりは目に染みついた。

ツマガロヒヨウモン今年も健在 意外と寒かつた今年は、ギフチョウの発生も大幅に遅れ、ツマガロヒヨウモンの越冬が危ぶまれていたが、今年もしつかり越冬したようです。

能登から九番目のゼフィルス 三上氏によって能登九番目のゼフが宝達山から記録された。三上氏は、能登八番目のゼフ、ウラキンシジミも輪島の

日吉氏と同年の一九九七年に発見している。今後も十番、十一番と続くことを期待したい。

### 井村会長ついにインターネット

一九九七年にペンティアム機を購入しながらも、必要ないと拒んでいた会長、いよいよデジタル回線を引き込み、インターネットに接続する。

### 春のアサギマダラに要注意

アサギの南下記録は多数知られているが、北上記録はほとんど知られていない。福田晴夫氏は、ゴールデンウイークに種子島等で千頭を越すアサギにマーキングし、本土での再捕獲を期待している。

### 例△△の記録

四月六日(木)城南管工二階にて八時から開催。

今回の話題はツマガロヒヨウモン。今年の冬は厳しかったが越冬できたのか。蛹越冬か幼虫越冬か。何度までなら耐えられるのか。どんな場所で越冬しているのか等々。

その他の話題では、笹川氏は平日に出没、武藤氏の退官記念講演はイカリモンのDNA解析、マイマイは海岸線、ラオスの土産話等々。

参加は、竹谷、細沼、松井、井村、山岸、嵯峨井、指田、中西、吉村の九人。

### 例△△の記録

五月十一日(木)城南管工二階にて八時から開催。

発生が遅れているギフチョウについて、有名産地に人影無し、ギフはこれから、ホテルをキャンセル、ギフがヒメギフに、山は真つ白等、各地の話題が提供された。

その他の話題では、六月はウエダオルム、七月からインドネシア、八月はブラジルと北京、熊坂金津付近のカンアオイ、ウスバシロはまだ飛ばない、超軽合金六〇センチメッシュネット等々。

参加は、高田、中西、井村、山岸、松井、大脇、生田、指田、西原の九人。

【表紙デザイン…小幡英典】

# 會員の動き・しゃばの動き

アサギマダラは羽化ならず

キジョランの葉は冬季になると丸まって筒状になり、幼虫はこの中で寒さに耐えていた。二度日の越冬実験は、羽化に至るかと思えたが、春間近の風雨によって終齢幼虫はあつげなく死んでしまった。

日吉宏朗氏、輪島へ引つ越し

宏朗氏、この四月から門前高校に勤める事になった。金沢の方が虫も多く、輪島へ帰るのは忍びないと言っていたが、輪島はかつてのホームグラウンド、隅々まで知ってる知識を生かしてがんばってほしい。

ギフチョウ探して東へ西へ

松任山島台の牧原氏、お天気に誘われ、チャリに乗ってギフチョウ調査。まだまだ風は冷たく倉ヶ岳は雪ばかり。

ギフチョウ初飛は四月一日

春の一大イベント「ギフはいつ飛ぶか」は、三月第四週から繰り広げられていたが、三月中には確認できず、予想だにできなかった四月一日になつてやっと確認された。最近の初日をひもくとくと、四月の初飛は一九九一年と一九九五年にもあつた。

輪島市周辺春のチョウ調査

輪島の日吉ファミリィ、春の蝶は調査不足と、精力的にフィールドに出ている。バリの宏朗氏が輪島に戻った事でもあり、新しい発見があるかも知れない。

名立魅惑のマイマイツアー

中西コンダクターに率いられた一行四人、怪しく輝くマ

イマイを手中に収めんとツルを振った。井村会長は体長が優れず、松井氏はギフをも眼中に入れ、細沼氏はビカビカ个体を狙っていたためか、終始中西氏にリードされっぱなし。

環境庁編昆虫レッドデータリスト

無脊椎動物のレッド種が見直され昆虫レッド二千が公表された。前回三十八種だったレッド種は今回百三十九種と大幅に増加。中でも草原性の蝶が多数登録された。県内産レッド種も三十七種となった。

オオシモフリスズメの街灯調査

ギフチョウの頃に現れる大型のスズメガで、かなり少ないらしい。調査は平地の街灯巡りで簡単らしいが、重症の花粉症患者にとっては平地がくせもの。帽子にマスク、メガネの出で立ちが、街灯に照らされると、すこぶる怪しい。

またまた坪野でセアカササムシ

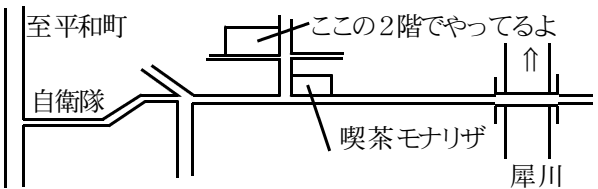
一九九八年にトラップで二頭確認された以後、執拗なト

## 翔 144号

Tobu 2000年6月1日発行  
百万石蝶談会

<http://member.nifty.ne.jp/hakusan/>  
金沢市大場町東871-15 松井方  
☎920-3121 ☎076-258-2727  
郵便振替 00750-8-562  
印刷 小西紙店印刷所

例会は偶数月・5月・7月の第1木曜日8時から  
TEL参加もOKです (076-244-3318)



## 目 次 (144号)

矢田新平：小松市大杉谷でムラサキシジミを目撃	1
松井正人：初夏の三又発電所で観察した蝶の幼虫、卵など	1
松井正人：コナラからウラナミアカシジミの幼虫を発見	2
日吉芳朗・日吉南賀子：輪島市でのミヤマセセリとホソバセセリの記録	2
嵯峨井淳郎：石川県における越夏スジボソヤマキチョウについて	5
久慈一英：南アフリカの思い出	6
編集部：会員の動き・しゃばの動き	10